

まちのあかりが、きらきらとか
がやいている。みちをゆくひとび
とは、みないそがしそうだ。とお
くから、きしやのおとがきこえ
る。そのひびききは、こころのお
くにまでしみこんでくる。

さとうはるお」とかいのゆううつ「より